

3. 稲作地帯

カリフォルニア州は北アメリカの西海岸に位置し、南北に凡そ 1500km(北緯 32 度から 42 度)、東西に 300~400km の縦に細長く伸びている州である。面積は約 40 万平方キロで日本の約 1.1 倍の広さとなる。北はオレゴン州との境にカスケード山脈、東のネバタ州との州境にはシエラネバタ山脈(標高 3600~4400m)そして西側には標高 1000~1200mの海岸山脈を有する。又、ほぼ州の中央部には東西にテハチャピ山脈が走り、これらの山脈に囲まれた地帯に広大な中央平原が南北に 800km、東西に約 250km の幅で広がっている。この中央平原の北部にはカスケード山脈に水源を持ち北から南に流れるサクラメント川、平原南部にはシアラネバタに水源を持つサンフォアキン川が北から南に流れ、平原のほぼ中央で合流し、向きを西に向けサンフランシスコ湾に流れ出ている。サクラメント川流域をサクラメント平野、サンフォアキン川流域をサンフォアキン平野、合流部はデルタ地帯と呼ばれている。この中央平原が世界有数の農業地帯となっており、そしてサクラメント川流とその支流流域が稲作の中心地帯となっている。

カリフォルニア州にて生産される米の 90%以上の作付けは、サクラメント平野にて行われており、一部がサンフォアキン平野北部にて作付けられている。サクラメント平野の主たる米生産郡は、カルウサ郡(Colusa county)、ビュッテ郡(Butte county)、グレン郡(Glenn county)、サッター郡(Sutter county)、ユバ郡(Yuba county)、ヨロー郡(Yolo county)、プレサー郡(Placer county)、サクラメント郡(Sacramento county)、そしてテハマ郡(Tehama county)である。これらの郡の内カルウサ郡、ビュッテ郡そしてグレン郡が中心地であり、3 郡の合計作付面積は全州の凡そ 70%となる。

サクラメント平野の年間降雨量は、平野北部では約 26 インチ(660mm)平野南部では 18 インチ(約 450mm)程度であり、極めて乾燥した地帯と言え、その降雨は晩秋から初春に集中している。平野北部及び北東部の山岳地帯には、冬季に多量の降雪がある。冬の降雨と山岳地方の春先の雪解け水がサクラメント平野の灌漑用水の主たる水源となる。4 月中旬から 10 月上旬には大陸内部から張り出してくる高気圧のため、内陸の暖かい乾燥した空気が平原内部に流れ込み、サクラメント平野は殆ど降雨の無い、乾燥した温暖な季節を迎える。春から秋に掛けてのこのような乾燥・温暖な気象条件は、水さえ確保できれば稲作には極めて適した気象条件といえる。サクラメント川とその支流フェザー川(シエラネバタ山脈に水源を持つ。)流域の土壌は、粘土を 25~75%含む黒色重粘土質土壌であり、保水性が強く一般作物には敬遠されるが稲作には良い条件となる。恵まれた気象及び土壌条件そして水利の良さが、サクラメント川とその支流流域を大稲作地帯として発展させたといえる。